

株式会社リンク・トラストの事業承継に対応する 「ソーシャルローン」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、株式会社リンク・トラスト（代表取締役：高旗 通博、以下「リンク・トラスト」）の事業承継に対応すべく、株式会社Lホールディングス・セカンド（※1）に対して「ソーシャルローン」（以下「本ローン」）を実行しました。

本ローンは、MBO（※2）を通じて、株式だけでなく経営方針等も次世代の経営陣に引き継ぐことで、リンク・トラストおよび同社の協力会社の雇用維持・創出につながることを期待される、国内で初めての事業承継を支援するソーシャルローンです。

ソーシャルローンとは、その調達資金を「社会的課題を解決する事業」に充当することを目的としたローンです。リンク・トラストは、ソーシャルローン原則（※3）等に基づき、2023年12月に「ソーシャルローン・フレームワーク（以下「本フレームワーク」）」を策定し、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（以下「R&I」）より、ソーシャルローン原則等に適合していることについてセカンドオピニオン（※4）を取得しています。

リンク・トラストは、賃貸用マンションを中心に建築・施工する会社として2002年4月に設立されました。経営理念の一つである「建築業は所長業」を軸に社員の成長を支援しており、社員90名強のうち、約40名が現場監督（所長、主任）として活躍しています。

また、建築業界が抱える技術職の高齢化という課題に対応するため、女性や海外からの人材を含めた積極的な雇用推進を行うとともに、社員が早期に現場経験を積む機会を提供し、技術力の向上を図っています。さらに、資格取得支援の全額補助等を通じたリスキリング支援体制を整え、社員の定着化や技術職の年齢分布の平準化にもつなげています。

次世代へ事業を承継する時期を迎えるにあたり、リンク・トラストの創業者である代表取締役の高旗氏および専務取締役の伊藤氏は、同社の企業理念や上記取り組みを着実に引き継ぎ、さらに発展させてくれるのは役職員であると判断し、このたび、MBOによる自社株式の承継を決定しました。

みずほ銀行は、リンク・トラストの事業承継にファイナンス面から支援すべく、リンク・トラストが本フレームワークに基づき実施するMBOにかかる資金として本ローンを実行しました。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。環境・社会課題解決に向けた資金の流れを創出するサステナブルファイナンスや金融を超える知見・機能を活用したソリューション提供を通じ、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向けて、お客さまとともに挑戦していきます。

〈案件概要〉

借 入 人：株式会社LTホールディングス・セカンド

契約締結日：2023年12月19日

実 行 日：2023年12月26日

資 金 使 途：借入人によるLTホールディングス（※5）株式の取得資金

（※1）後継者が出資する会社であり、本件実行によりリンク・トラストの100%親会社であるLTホールディングスの100%親会社となります。

（※2）MBO（マネジメント・バイアウト）：

一般に、買収対象会社の経営陣が、買収資金の全部又は一部を出資して、買収対象会社の事業の継続を前提として買収対象会社の株式を取得する取引をいいます。

（※3）ソーシャルローン原則：

英 Loan Market Association（LMA）、香港に本部を置くアジア太平洋地域業界団体 Asia Pacific Loan Market Association（APLMA）、米 Loan Syndications and Trading Association（LSTA）が、2021年4月発行した社会プロジェクトに用途を限定する融資の国際ガイドライン。

（※4）R&Iによる評価レポートをご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/socialfinance/index.html>

（※5）リンク・トラストの100%親会社

以 上